

佐々木隆雄先生の退職をお祝いして

著者	?見 誠良
雑誌名	経済志林
巻	72
号	1-2
ページ	1-2
発行年	2004-08-10
URL	http://hdl.handle.net/10114/00017185

佐々木隆雄先生の退職を お祝いして

経済学部長

靄 見 誠 良

佐々木先生は、1967年に本学部には助教授として赴任され、長年のあいだアメリカ経済論を講義されてこられました。1980年代末、経済学部の多摩移転に際しては比較経済研究所の創設に携われ、1984年から1988年までその所長職にあつて、研究所の基礎づくりに尽力されました。また1994年から1998年には初代の多摩図書館長を務められ、多摩あるいは法政大学の図書館の充実に奔走されました。比較経済研究所、多摩図書館がいまあるのも先生の奮闘によるところが大きいものと思われまふ。

佐々木先生の専門領域はアメリカ経済論にあります。多様な専門領域を踏まえながらアメリカを一国経済論として論ずることは、やさしいことではありません。経済史から現代経済へ、産業、金融から国際経済へ、佐々木先生は広い教養と鋭い問題関心からこの課題に迫り、優れた珠玉のような業績を残されました。またその多彩な講義を通じて、多くの学生がアメリカ経済あるいは現代経済への関心を呼び起こされたものです。

佐々木先生の研究の特徴は、その実証性にあります。現代の経済を巡って、データ、資料をとことん収集し、そのなかから明確な見透しを抉り出す、歴史家的な実証性です。この点はこの世代の経済学部メンバーが培った、後に続くものが継承すべき伝統です。バスの中やホームの立ち話のなかで、佐々木先生が発する鋭い質問に幾度か立ち往生したことが思い起こされます。往々にしてネガティブな視点に傾きがちですが、先生の長期を

見透した事実在即し，現象の表層を剥ぎ物事の本質に迫ろうとする姿勢は
なお健在です。残念ながら先生は定年を一年残してお辞めになりました。
それも研究のためとお聞きしております。さらなる進展をお祈りいたしま
す。